

## 1. 国労・松浦代議員

24年目にして、皆さんの支援によって国労・全労働の闘いが政治解決した。自公から民主党に政権交代が実現したタイミングで、1047名のJR採用差別事件の解決を求める闘いが解決した。物心両面で支えていただいた皆さんにお礼が言いたい。8月25日の報告会・レセプションでは、「万歳と言いたいが雇用問題が残っており、まだ素直に喜べない。しかし、安堵感もあって、これまでの仲間の苦労を労いたい気持ちだ。この闘いは日本の労働組合史に残る。同じ歴史的な闘いでも三井・三池の仲間はいないが、国労1万数千名の組合員は残っている。これからは日本の労働運動の前進のために奮闘したい。国鉄は民営化されても九州や北海道貨物など赤字で株の上場さえできず、負の遺産も引き継がれている。今後は職場の労働条件の改善や組織拡大で奮闘する決意だ。国鉄時代を知らない18歳の若い組合員も加入してくれた。国会議員の削減や地方公務員の削減は民主主義に関わる重大な問題であり、財源を削るためだけの手段として考えるのは間違いだ。今後も奮闘することを決意してお礼とする。